

ジェンダー 主流化 の推進

埼玉県内における男女間格差の解消を目指し、市町村や企業等に対してジェンダー主流化の理解促進を図る取組を実施しました。

ジェンダー主流化とは

事業や組織運営のあらゆる段階において、固定的性別役割分担や性差別、偏見等が社会的に作られたことを意識する視点を取り入れ、ジェンダー格差をもたらす結果になっていないかを点検し、改善に取り組んでいくことです。

1 トップセミナー(10/21)

県内経済団体と連携し、埼玉県内の企業幹部に理解を促進するセミナーを実施しました。後日市町村長に動画を配信しました。

【講演】

「ジェンダー主流化に向けた課題-ジェンダー平等と多様性／ダイバーシティの推進に向けて」

講師：萩原 なつ子さん(独立行政法人 国立女性教育会館理事長)



講演する
萩原なつ子さん



埼玉県の取組を
紹介する大野知事

2 実務者向けセミナー(11/28)

トップセミナーを踏まえ、企業・事業所・市町村等の実務担当者を対象としたセミナーを開催しました。

埼玉県の取組について紹介の後、独立行政法人国際協力機構(JICA)の齋藤有希さんから県の取組に対するコメントをいただきました。また、白十字株式会社の柴野壮史さんから、企業としての取組をお話いただきました。



企業の取組を紹介する
柴野壮史さん
(白十字(株)商品発本部
ヘルスケアプランディング課課長)



With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)

With You さいたま

